

- 感染拡大予防ガイドラインに基づきながら、商店街やお店の個性・魅力をしっかりと伝えられる情報発信の基盤づくりとツール開発、地域住民参加型のイベントに取り組み、地域との絆を深めながら生野本通中央商店街らしい、街・商店街・個店の賑わい元気づくりの実現化を目指す。
- コロナ禍による生活様式の変化に適応できる商店街を目指す一方、SNSなどに馴染めない方々にも届きやすいアプローチ方法を考え実行していく。

背景・課題

- ✓ 近年、大型店舗進出による来街者の激減、店主の高齢化・廃業による空き店舗増加など厳しい状況下にあったが、加えてコロナの影響により想定外の大打撃を受け、組織存続の危機に陥っている。
- ✓ 1日平均通行量の増加と午前中の時間帯に来街者が集中してしまう現状をイベントなどにより少しでも改善し、安定的な来街者数の確保を目指す。

取組内容

- ✓ 子ども達による物産展開催。自ら選んだ特産品を元気に明るく対面販売してもらい、賑わいづくりに繋げる体験型社会学習イベント。
- ✓ SNS子ども広報体験イベント。空き店舗を商店街広報室として活用し、地元学生が店舗への訪問取材や物産展などの様子取材し、動画撮影、配信を行う。
- ✓ webプラットフォーム構築及び高齢者向けに紙ベースの情報ツール作成。（フリーペーパー、お店紹介MAP等）

見込まれる効果等

- ✓ 「子ども物産展」を通じて、商・官・学との連携、繋がりをさらに強化して魅力を体感してもらう。
- ✓ 動画配信やWEB構築を通して、時代のニーズに合わせた商店街の情報発信が可能になる。



←商店街のようす

物産展イベント会場

